

ごみ処理・リサイクル事業のあり方検討について
(中間まとめ)

令和4年9月

室蘭市生活環境部環境課

1. あり方検討の経緯

市では、将来的な人口減少に伴う市税収入への影響が予測されるなか、公共施設の老朽化対応など、市の財政運営にとって今後も厳しい状況が見込まれているため、「室蘭市行政改革プラン」に基づき、各種事務事業の見直しを行っている。

ごみ処理・リサイクル事業についても、新たなごみ処理施設の整備にあわせて、収集運搬を含めたごみ処理やリサイクル事業のあり方について、歳入歳出両面から将来にわたって持続可能な仕組み作りを検討するため、令和元年に「室蘭市ごみ処理・リサイクル事業あり方検討委員会」を設置し、ごみ処理・リサイクル事業の課題解決に向けて検討を行うこととした。

2. 検討委員会

(1) 委員（令和4年4月1日現在） ※敬称略

所属	氏名
室蘭工業大学もの創造系領域 准教授	吉田 英樹 ※委員長
室蘭市町内会連合会 副会長	森川 卓也 ※副委員長
室蘭商工会議所 事務局長・中小企業相談所長	菊地 正幸
室蘭市女性団体連絡協議会 監事	菊池 弘子
室蘭消費者協会 会長	安部 益美
道南公益清掃事業協同組合 理事	齊藤 崇
室蘭リサイクル事業協同組合 理事長	遠藤 光夫
生活協同組合コープさっぽろ室蘭地区本部 本部長	古藤 学
室蘭工業大学生生活協同組合 専務理事	鶴田 祐己子
室蘭市リサイクル協働市民協議会 会長	西畑 常夫
公募委員	山内 ふみ
公募委員	塩越 裕美子

(2) 開催年月日や検討議題等

回	開催年月日	人数	検討議題等
第1回	R1.6.28(金)	12名	ごみ処理・リサイクル事業検討委員会、ごみ処理・リサイクル事業の現状と課題（収集運搬や処理費用、ごみの排出量、収集作業員の確保）
第2回	R1.10.15(火)	12名	市民アンケート調査結果、ごみ処理・リサイクル事業概要、他都市との比較
第3回	R1.12.19(木)	10名	プラスチック製容器包装の資源化、西いぶり広域連合負担金、ごみ処理・リサイクル事業の見直し案

回	開催年月日	人数	検討議題等
第4回	R2.2.25(火)	10名	ごみ処理・リサイクル事業の見直し案、一般廃棄物の処理フローとコスト、「危険ごみ」区分新設
第5回	R2.8.21(金)	9名	ごみ処理・リサイクル事業の見直し案、一般廃棄物処理基本計画の中間見直し
第6回	R2.11.27(金)	11名	ごみの減量推進（食品ロス削減、使用済小型家電、事業系ごみ）、既存事務事業の見直し（危険ごみ、プラスチック製容器包装分別収集）、手数料の適正化
第7回	R3.2.22(月)	9名	ごみの減量推進、既存事務事業の見直し、プラスチック製容器包装分別収集、ごみ処理手数料の適正化、廃棄物処理事業に関わる今後の見通し、一般廃棄物処理基本計画の中間見直し
第8回	R3.4.15(木)	9名	ごみ処理手数料の適正化に係るコスト算定結果、廃プラスチックに係る国の施策等、食品ロス削減推進計画の審議
第9回	R3.7.14(水)	9名	ごみ処理手数料適性化（案）に関する市民説明等、プラスチック製容器包装分別収集事業の見直し、食品ロス削減推進計画骨子（案）、ごみステーション集約方針と新設抑制
第10回	R3.11.24(水)	7名	廃棄物の減量・リサイクル及び適正処理等に関する条例の一部改正、収集地区再編案、ごみステーション集約方針
第11回	R4.9.1(木)		食品ロス削減推進計画（素案）、ごみ処理・リサイクル事業あり方検討の中間まとめ

3. ごみ処理・リサイクル事業の課題

(1) ごみ処理費用の増加

- 人口減少とともにごみ量は年々減少しているが、焼却施設における保守管理費用等の増により、ごみ処理費用は増加している。

(2) ごみの減量化やリサイクルがすすんでいない

- 広報紙やホームページなどで啓発に努めてきたが、一般廃棄物処理基本計画の目標値とのかい離が生じている。

(3) 収集作業員の確保

- 祝日の収集作業などの勤務環境を理由に収集作業員として若年者が定着せず、将来的な収集業務体制の維持が困難になる恐れ。
- ごみステーションが年々増加し、収集作業員の負担増の要因となっている。

4. 課題解決に向けた取り組み

(1) ごみの減量推進

項目	委員からの主な意見	取り組みの方向性	実施した取り組みなど
①周知啓発	<ul style="list-style-type: none"> 少しでも多くの市民に情報が行き渡るよう周知方法や周知内容の工夫が必要 LINE 分別案内の導入を検討する 出前講座は町内会や学校など市民に身近なところで積極的に実施する 	<p>広報紙やホームページ、Twitter、Facebook、LINE などのあらゆる媒体を活用して、ごみの減量やリサイクルに関する情報を提供し、市民のごみ減量に関する意識啓発を行う。また、出前講座による市民周知に積極的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> R3.4 LINE 自動分別案内運用開始 出前講座を随時実施
②生ごみ	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ減量のための助成制度の導入を検討してほしい 食品ロス削減について市民を巻き込んで考える場を設ける 継続した周知啓発により食品ロス削減の意識を浸透させる 	<p>家庭系ごみの約 2 割を占める食品ロスの削減に向けて、他都市の取り組み等を参考に、フードドライブ等のイベントや食育の推進など、他部署と連携しながら全庁的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> R2.11 食品ロス削減推進庁内連絡会議設置 R2 以降、10 月「食品ロス削減月間」にフードドライブ実施 R4.5 生ごみ処理機等購入助成受付開始 R4 年度中に食品ロス削減推進計画を策定予定
③古紙類	<ul style="list-style-type: none"> 古紙類の集団回収での分別方法について周知が必要 多くの町内会等で資源回収を実施するよう投げかけが必要 	<p>古紙類の分別収集の促進に向けて、資源回収団体不在地域での回収団体の増加に取り組むとともに、回収量増加に向けた効果的な情報提供等によりリサイクルへの誘導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資源回収団体不在地域で町内会への集団回収実施の呼びかけ ⇒ 実施には至っていない
④小型家電	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量のため小型家電回収場所の増設を検討 転出入の多い時期に室蘭工業大学で臨時回収イベントを実施する 	<p>街頭啓発等の各種イベントでの臨時回収所設置や、回収量増加に向けた効果的な情報提供等によりリサイクルへの誘導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> R2.9 室蘭工業大学生協同組合パレットに回収ボックス設置 R2.12 リネットジャパンと協定締結し宅配回収サービス開始 小型家電臨時回収（水族館、室蘭工業大学生協同組合パレット） ⇒ 今後も継続して実施する予定
⑤事業系ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレスや食品ロス削減を推進する必要がある 	<p>一般廃棄物の約半数を占める事業系ごみの減量に向けて、紙類などの排出動向の把握に努め、ごみの減量に関する情報提供など排出量削減に向けた取り組みを行う。</p>	<p>※次回以降の検討委員会で引き続き検討</p>

(2) 既存事務事業の見直し

項目	委員からの主な意見	取り組みの方向性	実施した取り組みなど
①収集地区再編	<ul style="list-style-type: none"> 収集日以外の日にごみや資源物が出されないよう周知が必要 地図で収集日を色分けすると伝わりやすい 	<p>収集運搬の効率化に向けてごみ量の偏りを平準化するため、収集地区を再編する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> R4.4 収集地区再編を実施 ⇒日ごとの収集量を平準化 ⇒燃やせないごみの収集日を水曜日に集約（8→3 地区に再編） ⇒資源物の土曜日収集を廃止（9→8 地区に再編） ⇒PanasonicITS との連携（日報の電子化、収集の助け合い）
②収集頻度等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> スプレー缶類の分別収集実施の前倒しを検討 収集運搬を継続するためにも作業員の待遇改善が必要 祝日の収集休みでもごみが出されないよう市民に伝わるように周知が必要 	<p>収集作業の負担軽減を図るため、祝日の収集休み導入に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> R3.4 危険ごみ（スプレー缶類、ライター類、電池類）分別収集開始 燃やせるごみの祝日収集を廃止（R4：7日間）※ハッピーマナーを除く R4.4 資源物の収集を月 2 回から隔週に変更 ※R4.7.12 メルトタワー21 で火災発生

項目	委員からの主な意見	取り組みの方向性	実施した取り組みなど
③ ごみステーション集約	<ul style="list-style-type: none"> ・収集作業の負担軽減のため軒先ステーションの集約が必要 ・ごみ出し困難者の対策を合わせて実施する ・設置に関する助成制度を検討 ・設置や管理、構造などのルールが必要 ・設置の際は収集事業者にも確認を ・デザインを統一するなど美観にも配慮 ・複数世帯で利用するステーションに看板を付けてほしい ・集約する前に市の現状や課題について市民の認識を深める 	<p>収集業務の効率化及び収集作業の負担軽減のため、個人設置のごみステーション等を集約する。なお、集約の実施にあたってはごみ出し困難者への対応について町内会等を協議する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.4 ごみステーションの設置、清潔保持等に関する要綱制定 ・R4 年度中に集約方針を策定予定
④ プラスチック製容器包装分別収集の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬の効率化のため事業の廃止を検討 ・可燃ごみと手数料に差をつけてリサイクルへ誘導しては ・残渣を減らすなどコスト削減のための取り組みが必要 ・費用の削減だけではなく CO2 排出量など環境への影響も考慮すべき ・ごみに限らず市全体で CO2 排出を抑制する取り組みが必要 	<p>費用対効果、収集運搬作業員の確保、CO2 排出量について総合的に判断し、令和 3 年度末で事業を廃止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.3 末で分別収集廃止

(3) 手数料の適正化

項目	委員からの主な意見	取り組みの方向性	実施した取り組みなど
① ごみ処理手数料の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量など歳出削減に取り組んだうえで手数料の見直しを検討する ・家庭でのごみ減量支援策も検討する ・差額分のシールを作成する ・指定ごみ袋のばら売りを推進する ・5リットルのごみ袋は収集作業の負担増。他市の状況を参考に導入の是非を検討。 	<p>ごみの減量や収集運搬業務の効率化など、ごみ処理費用の削減に取り組んだうえで、ごみ処理手数料の適正化を検討する。</p> <p>⇒ 新中間処理施設に要する費用や、ごみの減量・リサイクル推進への取り組みの効果額を考慮し、手数料の適正化に向けてコスト算定を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.4 ごみ処理手数料改定（2 円⇒3 円/袋） <p>【市民説明等】</p> <p>R3.6～市内 5 会場で説明会開催（参加人数 延 69 名）、YouTube に説明動画を掲載、市ホームページで意見を受け付け</p> <p>【指定ごみ袋等変更内容】</p> <p>指定ごみ袋： 可燃・不燃共通で白色半透明、厚さ変更、企業広告導入</p> <p>ごみ処理券：緑色</p>